

# ellipse

[エリプス]

楕円 (ellipse) には焦点がふたつあります。男性中心の社会から、女性と男性がそれぞれに中心 (焦点) となる社会を目指すという思いを込めて、誌名を「エリプス」と名づけました。

## INTERVIEW

### いずみ保育所

—大学の中に赤ちゃんがいる—



風のカノン (木炭)

風が吹くたびに草木が揺れ、女性の髪がなびく。まるでカノン (輪奏) のように。

吉村 雅利 画  
(お茶の水女子大学附属高等学校教員)

## REPORT

平成15年度助成事業の報告

## INFORMATION

お茶の水フェスティバル  
就職セミナー  
お茶の水女子大学 イベント情報



特定非営利活動法人  
お茶の水学術事業会

## 弁護士 野中 智子

昭和55年 教育学科卒業

### 東京銀座法律事務所

〒104-0061

東京都中央区銀座8-12-13 豊川ビル3階

TEL 03-3248-2616 FAX 03-3248-0611

#### 主な業務内容

- 1 民事事件
- 2 家事事件
- 3 刑事事件
- 4 少年事件
- 5 破産事件
- 6 遺言書・売買契約書等各種契約書作成
- 7 各種法律相談



photo by Wonder Creator

## 海外留学の夢をかなえよう!

ヨーロッパ最大のカレッジで、好きな技術を身につけませんか。

フラワーアレンジメント  
アロマセラピー  
ビューティセラピー  
ヘアデザイン  
ファッション  
ケータリング  
ベーカリー  
アート  
ダンス  
英語

その他にも短期から長期まで多数のコースあり

現在夏季コースお申し込み受付中!

日本語でお問い合わせ・お申し込みに対応。

あなたのニーズに合ったコースがきっと見つかる!

英国 New College Nottingham 日本オフィス

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-30-12-102 ティー・シー・アイジャパン内

Tel: 03-3666-6068 Fax: 03-3666-6069 Eメール: info@ncnjapan.com

WEBサイト: www.ncnjapan.com

◆事務局所在地  
東京都文京区大塚2-1-1  
お茶の水女子大学 理学部3号館204

◆交通機関  
地下鉄 丸の内線  
茗荷谷駅から徒歩7分  
地下鉄 有楽町線  
護国寺駅から徒歩8分  
都バス  
大塚2丁目バス停すぐ

## ヤマザキ

www.yamazakipan.co.jp/

レーズン  
好評発売中



耳までソフトで、ほんのり甘い。超芳醇

## MIZUNO

人に優しいビジネス環境を創造します

MIZUNOは、  
2003年 ISO14001 認証  
を取得しました

- ◆ゴミはもっと減らせないだろうか。 Reduce
- ◆これはもう一度使えないだろうか。 Reuse
- ◆新しい商品に再生できないだろうか。 Recycle



OA機器・オフィス家具  
文具・事務用品  
ソフトウェア作成・販売

東京本社: 文京区大塚 2-17-12  
TEL: 0120-018-162 FAX: 0120-018-197

美津野商事株式会社

## 編集後記

お茶大の卒業式で「エリプス」をお取りして当事業会のご紹介をしたところ、さっそくご入会がありました。皆様のご期待に応えられるよう、今年度もがんばります。

### 広告募集

このページに広告を掲載しませんか? 次号は9月発行です。約5,000部発行、広告料金は20,000円/回、会員の皆様をはじめ全国の公共機関などに送付します。その他、ブックレットの広告も募集しておりますので、詳しくは事務局へお問合せください。

## 事務局

OPEN 月～金 10:00～16:00

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学 理学部3号館 204  
TEL&FAX 03-5976-1478 E-mail: info@npo-ochanomizu.org  
http://www.npo-ochanomizu.org

※会員の方は、お問合せの際、会員番号をお知らせください。会員番号は封筒の宛名ラベルに印字してあります。



# いずみ保育所

— 大学の中に赤ちゃんがいる —



いずみ保育所は「女性が働き、学ぶ場に保育施設を」との思いから、学内の教職員が2000年に学内保育施設設置検討委員会を発足させ2002年に誕生した学内の保育施設です。

お茶の水女子大学附属幼稚園舎内の一室という小規模な保育所ながら、開設までには先生方、職員の皆様方をはじめとする支援者のみなみなならぬ努力と熱意がありました。

小さいながらも恵まれた環境の中、現在保育所からは保育士さん、赤ちゃんたち、お母さん方の楽しそうな声が聞こえてきています。お散歩などで構内の学生と出会う場面もあるようです。今回はこんないずみ保育所をご紹介します。

また、当事業会から平成15年度の助成事業の1つとして、いずみ保育所へ40万円の助成を行いました。ここに報告させていただきます。

## Q 保育の理念を教えてください。

学内保育施設設置検討委員会（のちの保育施設運営会）の理念を受け継ぎ、質の高い保育はもちろんのこと、子どもをもつ人を支援することが私たちの目的です。具体的には利用するそれぞれの人の生活パターンや子育てに関する信念を尊重しつつ、それをサポートすることです。

## Q 先生方を紹介してください。

現在はいずみ保育所の意義に賛同した意欲あふれるお茶大児童学科卒業生4名が主なスタッフとなり、さらに派遣スタッフ、ボランティアの学生や保育お姉さん達に協力してもらっています。4名のスタッフは保育士の資格を持っています。

## Q ボランティアの学生は何名ぐらいですか？

発達臨床の学生を中心に、現在7人から10人ぐらいの登録があります。みなさん現場の実習のためにというよりも純粋に子供と触れ合うのが楽しいから来ているように見受けられますね。



お部屋の様子、誕生日はいつかな

● 名 称	お茶の水女子大学いずみ保育所
● 理事長	内田伸子
● 施設長	富永典子
〈設立経緯〉	
2000年5月	国立大学における保育施設の現状報告 保育施設に関する調査研究会発足（代表 室伏きみ子教授）
2000年12月	保育施設の設置に関する検討委員会（委員長 福田学生部長）
2001年11月	人間文化研究棟にベビールーム開設
2001年12月	附属幼稚園内保育室設置ワーキンググループを 検討委員会内に設置（世話人代表 牧野カツコ教授）
2002年10月	いずみ保育所 保育開始

## Q 「保育お姉さん」について教えてください。

時間外保育などを希望される方に紹介するベビーシッターさんです。保育所では手の届かないニーズに柔軟に対応していくべきだと考えて導入した制度です。

## Q 主な利用者は？

現在は院生の方が多いです。子供が近くにいて安心とか、預ける時間が短くてすむのが良いという感想をいただいています。

## Q 幼稚園舎内の場所を借りていることについて

幼保連携が盛んに必要だといわれている昨今、先駆的にその研究を進めていくフィールドとなるのではないかと、前向きにとらえています。幼稚園と保育園はその本来の目的から（幼稚園は教育、保育園は福祉）さまざまな文化の違いがあり、それを日常レベルですりあわせていくことは困難なことでもあります。



大学内で保育士と遊ぶ子どもたち、トンネル大好き

## Q 子供たちの食事はどうしているのですか。

給食は提供していませんので、各自でお弁当を用意してもらっています。学食等で購入して持ってきていただいても構いません。おやつは保育所が用意をします。赤ちゃんですと、お母さんが授乳をしにくることもできます。

## Q 園児の遊び場はどこを利用していますか。

幼稚園の園庭や大学の構内、お向かいの公園までお散歩に行くこともあります。もちろん室内にも楽しい遊具やおもちゃがありますので室内でも遊びます。

## Q 一日のスケジュールを教えてください。

スケジュールは決めないで、それぞれの子供に合わせてようにしていますが、大体11時半頃にお昼ごはんを食べてその後おひるね、遊び、おやつという流れで過ごしています。

## Q なぜ保育対象を3歳までとしたのですか。

一番の大きな要因は部屋が1つしかなく手狭であることです。満2歳までの乳児とそれ以上の子どもでは活動も生活パターンも大きく異なり、一部屋で質の高い保育を提供することが困難であるという判断からでした。また、特に認可保育園に入りづらい0歳1歳2歳の子どもを積極的に受け入れていくことが急務でした。しかし、3歳以上児に関しても、一時預かりや週1日程度の利用であれば受け入れています。普段は幼稚園や保育園で活動の機会が保障されていて、ご両親の都合でたまにいずみ保育所を利用するのであれば、子どもの生活に支障はないだろうという判断です。

## Q 今後規模を大きくしていく予定はありますか。

多くの方に利用していただきたいと思っていますが、運営経費などの兼ね合いから、当面は現在の規模（定員8名程度）で運営していくことになると思います。

いずみ保育所の運営については、2.5名分の人件費は大学に負担して頂いていますが、その他の人件費を含む経費は保護者が納める保育料や寄付によって賄われています。

直接いずみ保育所を支援したいとおっしゃってくださる方があれば、いつでも寄付を歓迎しております。

### 郵便振込口座

口座番号 00100-9-571811

口座名義 お茶の水女子大学いずみ保育所

なお、保育については原則下記のとおりです。

〔保育対象〕 保護者が学内関係者であって、生後6ヶ月から4月1日現在で満2歳までのお子さん

〔定 員〕 8名程度

〔保育時間〕 10:00～17:00

〔利用方法〕 会員登録後、月極もしくは時間預かり保育

ご利用を希望の方は電話・メールでお問い合わせください。

TEL 03-5978-5337 E-mail : izumi@cc.ocha.ac.jp



保育士に抱っこされて

今回お会いしたスタッフの一人斎藤実雪さんは、3月にお茶大の発達臨床学講座を卒業したばかりです。希望にあふれる話しぶりに、斎藤さんの、子供や保育、いずみ保育所に対する想いが伝わってきました。外部に就職をせずいずみ保育所に就職を決めた理由は一人一人を大切にする保育の姿勢とスタッフ同士のフォローしあえる関係が自分にあっていると思うからとおっしゃっていたのが心に残りました。当事業会では、これからもいずみ保育所へ継続的に助成を行い、応援していく予定です。

最後に、スタッフの皆さんからのメッセージです。

「大学の様々な立場の、多くの方に支えていただきながら、日々保育にあたることのできることに感謝しています。お子さんをお持ちの方、これから持とうと考えていらっしゃる方、子どもに関連する研究をしていらっしゃる方に、よき場を提供していけるよう、保育士一同、力を尽くして参ります。」

## 教育の振興、男女共同参画社会、子どもの健全育成のためのプロジェクトを助成しています。

平成15年度(平成15年4月1日～平成16年3月31日)の助成金支給対象事業は6件ありました。四半期ごとに、助成金支給対象事業を募集しています。平成15年度の助成金支給対象事業についてご報告いたします。



▲「世界のバリアフリー絵本展」カタログ

### 食の安全性に関するシンポジウム 〈第1回～第3回〉

- 期間 平成15年12月1日～平成16年3月31日
- 会場 お茶の水女子大学講義室
- 助成金額 75,000円
- 申請者 生活環境研究センター 近藤 和雄 (こんどう かずお)

近年、食の安全・安心が叫ばれています。しかし、食の安全に関してはいくつかの問題点が解決され、食の機能に関心が移行していることもあり、食の安全に対してどの程度議論すべきなのか、どの程度研究すべきなのか、はっきりしない点が多いことも事実です。そこで、生活環境研究センターでは、平成15年度に3回のシンポジウムを行いました。

第1回は、食の安全委員会(7名で構成)のひとりであるお茶の水女子大学生活科学部教授・本間清一先生にわが国の食の安全についての取り組みをお話しいただくとともに、2人の専門家に、「組み換え食品とは何か」と「遺伝子組み換え食品とアレルギー」と題してご講演いただきました。第2回は趣を少し変えて、食品の自然毒であるワラビ・トリカブト・フグについて3人の専門家による講演・討論を行いました。第3回は多くの方が常用しているサプリメントについて2人の専門家による講演・討論を行いました。

助成金は、講師謝礼などに使われました。今後も継続してシンポジウムを行い、人々の生活に大きな影響を与える食の安全について情報提供するとともに、議論をしながら問題点を見つめ、科学的なアプローチを行っていきたいと考えています。



▲シンポジウムのコーディネーターを務める近藤和雄氏

### 高大連携に基づく女性の能力開発 —高等学校におけるリベラルアーツの構築—

- 期間 平成15年7月1日～平成16年3月31日
- 助成金額 500,000円
- 申請者 お茶の水女子大学附属高等学校 校長 鷹野 光行 (たかの みつゆき)

お茶の水女子大学が中期目標に掲げる「女性の成長支援と資質能力の十全な開発」に則して、附属高等学校における女性の能力開発に有効なプログラムを開発するための研究が平成16年度から実施されます。具体的には、大学と高校の連携研究を通して、高等学校における国語・数学・英語に重点を置いた基礎的な学力を徹底し、これら3教科をコアとした各教科目の連関による思考力や情緒力の涵養を伴ったリベラルアーツの実現を目指すカリキュラムの研究と、高大接続制度や発達等についての研究を行うものです。

助成金により、教材・教具の準備ならびに比較調査のための先行調査(平成15年度1年生)および情報収集を行うことができました。授業教材および教養教育の趣旨に適った図書を購入して準備に充てたほか、新入生のための読書ノート用バインダー、英語のカセットテープ、印刷用紙・インクを購入しました。先行調査としては、基礎調査、国語・数学・英語の学力調査、読書調査を実施し、2月28・29日に「大学コンソーシアム京都」のシンポジウムに参加したほか、東京工業大学附属高等学校・日本女子大学附属高等学校についての情報収集を行いました。

以上のように準備を整え、平成16年4月から研究を試行実施することが可能となりました。



▲附属高等学校でのアンケート記入

### 「世界のバリアフリー絵本展」カタログ製作

- 期間 平成15年4月1日～平成16年1月31日
- 助成金額 250,000円
- 申請者 世界のバリアフリー絵本展実行委員会 委員長 攪上 久子 (かくあげ ひさこ)

IBBY(国際児童図書評議会)は1953年、大戦で荒廃しきっていたドイツに「子どもの本を通じての国際理解・平和の構築」を理念に設立された子どもの本に関する国際組織です。

現在スイスのバーゼルに本部を置き世界60数カ国が加盟しています。プロジェクトのひとつに「『障害』児のための本(BOOKS FOR ALL CHILDREN)」があり、ノルウェーのオスロに障害児図書資料センターがあります。ここでは長年にわたり各国から障害児図書を収集し隔年で推薦図書リストなどを発行しており、IBBY50周年だった2003年、今までの収集の中から19カ国の43作品を選出しました。日本支部であるJBBY(日本国際児童図書評議会)では、それを借り受けて日本ユニセフ協会と共催で国内巡回展を2005年7月まで順次開催しています。

助成金は、その43作品を掲載した絵本展のカタログの翻訳・作成費の一部として使われました。

選本はノーマライゼーションの理念に貫かれた9ジャンルに分けられ、視覚障害以外にも存在する絵本のバリアに対して、様々な工夫を凝らしたアプローチや歴史的に重要な意味を持つ作品が紹介されています。日本は子どもの本に関しては世界でも名だたる出版大国ですが、こうした絵本に関しての現状は大変貧しく、世界の取り組みから現状を打破する一歩を見つきたいと活動に取り組んでいます。

### 「パフォーマンス・アセスメント」による 算数・数学の学力測定方法の開発研究

- 期間 平成16年2月29日～平成16年3月29日
- 助成金額 500,000円
- 申請者 お茶の水女子大学21世紀COE拠点形成事業(人間発達科学)第3プロジェクト:算数・数学の学力調査方法開発研究会 耳塚 寛明 (みづか ひろあき)

お茶の水女子大学21世紀COE拠点形成事業(人間発達科学)第3プロジェクト「子どもから成人への移行に及ぼす社会・文化的要因の探求」では、この調査研究の一環として、初等・中等教育における児童生徒の算数・数学の新たな学力調査方法について研究を進めています。具体的には、これまで日本で導入されてこなかった「パフォーマンス・アセスメント」という算数・数学のテスト方法の開発に取り組んでいます。このテスト方法は、日常生活の文脈を取り入れた設問に取り組みさせる中で、問題解決のプロセスやその方向性、数学的推論力、解答のプロセスを他者に向かって表現するコミュニケーション能力等、子どもの数的能力

を多方面から複合的に測定することを目的としたものです。

本研究では京都大学の松下佳代助教授の指導をはじめとして多くの算数・数学教育研究者の協力を仰ぎながら、COEプロジェクトで実際に児童生徒に取り組んでもらった多くの答案を資料として採点基準の作成を行い、日本の教育現場への、導入の意義について検討を行いました(写真)。

児童生徒のつまずきの深奥や数的思考の適切さを知るために、このテストは大変意義あるものであることが確認でき、今後は現場への導入・普及活動を積極的に進める予定です。助成金は、謝礼や京都への交通費などに使われました。



▲京都大学にて採点基準作成研究会

### アフガニスタン女子教育支援事業

- 期間 平成15年6月11日～平成16年3月31日
- 助成金額 96,000円
- 申請者 五女子大学コンソーシアム 代表者 箕浦 康子 (みのうら やすこ)

お茶の水女子大学では、アフガニスタン女子教育支援に全学挙げて取り組んでいます。その一環として、平成15年11月26日に「文明の十字路からみたアフガニスタン」と題する講演会を、土谷遥子氏(元上智大学教授・元カブール大学教師)を招いて行いました。アフガニスタンは、メソポタミア文明とインド文明の交差点であり、アレキサンダー大帝がアフガニスタンに滞在するなど、古代から東西文明の十字路であったことや、その古代美術について125枚のスライドを用いて説明されました。多くのスライドは、土谷氏がご自身で撮影されたもので、破壊される前のパルミヤンの石仏など歴史的にも貴重なスライドが数多くあり、また、仏教がアフガニスタンから西に行かず北を経由して東に行き、正倉院の宝物にもその影響が見られることなど大変興味深いものでした。

助成金は、講師謝礼やホームビジット謝礼、研修準備費用などに使われました。



▲アフガニスタンの歴史と文化について語る講師の土谷遥子氏

## 「お茶の水フェスティバル」開催のお知らせ

～日程が変更になりました～

昨年ご好評いただいた「お茶の水フェスティバル」を今年も開催いたします。今年は読売新聞社と共催で講演会を行います。後日この内容は大きく紙上に掲載される予定です。

また、卒業生に対しては、この日を「ホームカミングデイ」とし、懇親会では学科単位のテーブルをご用意いたします（お申込みのあった学科対象）。遠隔地にお住まいのかたも、この機会に懐かしい母校で同窓生と旧交を温めてはいかがでしょうか？なお、会員の方で、5月中にお申込みいただいた方には講演会において優先席をご用意いたします。また、オリジナルグッズのプレゼントもありますので、皆様お誘いあわせの上、ぜひお越しください。

### 【開催概要】

2004年6月12日(土) ※6月5日から6月12日へ変更となりました。  
 13:00～16:00 講演会 於：微生物  
 16:15～18:00 ガーデンパーティ 参加費：1,000円  
 於：総合研究棟前広場（雨天のときは食堂）  
 ※事前にメール・電話・FAXでお申込みをお願いいたします。  
 E-mail : info@npo-ochanomizu.org  
 TEL&FAX : 03-5976-1478  
 ※1歳～6歳のお子様を講演会の間のみお預かりいたしますので、事前にお申込みください。（定員10名程）  
 ※講演会のテーマは現在未定ですので、後日ホームページでご確認ください。  
<http://www.npo-ochanomizu.org/>

## 就職セミナー「就職から考えるキャリアデザイン<sup>®</sup>」

学生みなさん、就職について考えていますか？ **共催：お茶の水女子大学 学生課**

このセミナーでは、キャリアデザインの考え方を通して、自己分析を行い自分の強み・弱みを知り、何に重きを置いて職業・職種・企業を選択するか、これからの自分の可能性を探ります。参加者同士のディスカッションあり、講師のアドバイスあり、楽しみながら自分の「これから」を考えてみましょう。受講料3,000円のうち1,000円を学生支援事業の1つとしてお茶の水学術事業会が負担します。80名限定です。今すぐお申込みを！！

日 時：2004年7月31日(土) 13:00～17:30  
 講 師：(株)キャリアネットワーク 専任講師  
 受講料：3,000円（『キャリアノート』代含む）  
 うち1,000円はお茶の水学術事業会が負担  
 定 員：80名(先着順)  
 申 込：お茶の水学術事業会事務局（理学部3号館204号室）にて受付、メール・電話・FAXでも受付  
 E-mail : info@npo-ochanomizu.org  
 TEL&FAX : 03-5976-1478

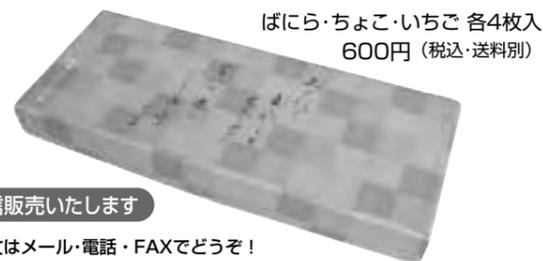
## お茶の水女子大学 イベント情報

2004年5月以降にお茶の水女子大学で開催される公開講座など各種イベントのお知らせです。詳細は直接主催者にお問合せください。

期 日	イベント・講座名	参加費	備 考
2004年5月 日時未定	食の安全性に関するシンポジウム 第4回～ シンポジウム第4回以降を開催いたします。テーマは残留農薬・香辛料・遺伝子組み換えなど。	無料	主催：お茶の水女子大学生活環境研究センター (お問合せ) 近藤研究室 TEL 03-5978-5812 佐竹研究室 TEL 03-5978-5806
2004年5月14日(金) 17:30～19:00	第3回 LWWC 未来開拓シリーズ講演会 演題 「環境ホルモン問題は、何が問題か」 講師 西川洋三氏 化学品安全コンサルタント 製品評価技術基盤機構・技術専門職員	無料	主催：お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター 会場：お茶の水女子大学共通講義棟2号館102講義室 参加申込：lwwc-jim@cc.ocha.ac.jp
2004年5月29日(土) 14:00～17:30	LWWC 設立一周年記念シンポジウム 講演1「食の安全と安心をめざして」 寺田雅昭先生(内閣府食品安全委員会委員長) 講演2「化学発がん」 福島昭治先生(大阪市立大学医学研究科長) 講演3「なぜ安心できないか」 土屋賢二先生(お茶の水女子大学文教育学部教授)	無料	主催：お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター 会場：お茶の水女子大学共通講義棟2号館102講義室 参加申込：lwwc-jim@cc.ocha.ac.jp
2004年6月28日(月) 18:30～20:00	第6回 お茶の水学術サロン 講師：常磐文克様(前 花王株式会社 会長) 演題：「モノづくり再考」	無料	主催：お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター 会場：お茶の水女子大学理学部3号館7階講義室 (お問合せ) E-mail : lwwc-jim@cc.ocha.ac.jp TEL&FAX 03-5978-5096
2004年8月7日, 21日, 28日 10:30～12:00	平成16年度 お茶の水女子大学 公開講座 「パソコンなんてこわくない！」	5,200円	お茶の水女子大学 企画広報課 HP <a href="http://www.ocha.ac.jp/koukai/">http://www.ocha.ac.jp/koukai/</a> TEL 03-5978-5105
2004年11月6日, 13日, 20日, 27日 13:30～15:00	平成16年度 お茶の水女子大学 公開講座 「文学の森を歩く－日本文学をあなたと」	6,200円	お茶の水女子大学 企画広報課 HP <a href="http://www.ocha.ac.jp/koukai/">http://www.ocha.ac.jp/koukai/</a> TEL 03-5978-5105
2004年11月13日(土)	第5回 生命科学フォーラム	無料	微生物祭の日に開催しますので、活気あふれる大学構内の様子もご覧いただけると思います。内容については次号でご案内いたします。

## 新製品「お茶大ゴフル」発売！

お茶の水女子大学オリジナルのゴフルが発売されます。お茶大をイメージした優しい色合いの箱に「みがかずば」の校歌を配しました。販売は5月下旬の予定です。お土産に、記念に、内祝にぜひお買い求めください。



通信販売いたします

ご注文はメール・電話・FAXどうぞ！  
 E-mail : info@npo-ochanomizu.org  
 TEL&FAX : 03-5976-1478  
 ※お茶の水女子大学生協の店頭でもお求めいただけます。

## ご寄付のお礼

会員およびご寄付をくださった皆さま、いつもご支援をいただき誠にありがとうございます。この度、高額なご寄付がありましたので、ここにご報告申し上げます。  
 近藤千恵子様(お茶の水女子大学児童学科昭和29年卒業) 500万円  
 荒川 信彦 先生(お茶の水女子大学名誉教授) 100万円

## 講師幹旋について

講演会やセミナーの講師の幹旋を行っております。ご要望に合わせて最適な講師をご推薦します。自治体主催の市民講座や講演会など、講師のご要望がありましたら、お気軽にお問合せください。



### ◆地方講演会共催のパートナーを募集しています◆

東京都以外の地域においても講演会を開催していきたいと考えております。共催していただける団体等がございましたら、事業会までご連絡くださるようお願いいたします。

## 正会員の皆様へ 総会を開催します

お茶の水学術事業会総会を6月12日(土)11時より行います。ご出欠を同封の返信はがきを用いて、必ず5月20日までにお知らせください。欠席の方は、委任状欄の記入もお願いいたします。

## お知らせ

### お茶の水ブックレット 既刊

第1号「教育と平和—アフガニスタン女子教育支援シンポジウムから」  
(緒方貞子+OAA編集会 著)  
 第2号「国立大学改革とお茶の水女子大学のゆくえ」  
(本田和子+土屋賢二+OAA編集会 著)  
 第3号「ライフワールド・ウオッチセンター」  
(LWWC+OAA編集会 著)  
 1冊500円(税込・送料別)でお求めいただけますので、メール・電話・FAXでご注文ください。  
 TEL&FAX 03-5976-1478 info@npo-ochanomizu.org



### 助成事業について

社会教育の推進、男女共同参画社会の形成、子どもの健全育成を推進することを目的とした助成事業を行っています。助成を受けたい方は、受付期間(平成16年6月30日締切り)に申請してください。募集要項は事務局にご請求ください。

### 投稿募集

(1) 社会教育の推進 (2) 男女共同参画社会の形成 (3) 子どもの健全育成について、あなたの意見を投稿してください。原稿は郵便またはFAXで、連絡先を明記して事務局へお送りください。

## お茶の水学術事業会 入会要項 あなたの社会貢献の第一歩としてぜひご入会ください！

■入会資格 趣旨にご賛同くださる方なら、どなたでも入会できます。  
 ■入会方法 郵便局の払込取扱票にお名前・住所・電話番号、通信欄に必要事項(会員区分/生年月日/会費口数/メール/FAX)をご記入の上、今年度分の会費をお支払いください。入会受付後、1ヶ月以内に会報のお届けと会員番号のお知らせをいたします。

【郵便】00100-3-583029  
 特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会

※払込手数料は各自でご負担ください。  
 ※ホームページからお申込みいただく場合は、払込取扱票の通信欄にはご記入なさらないでください。

■会員区分 □正会員 □個人賛助会員 □法人賛助会員

※正会員には議決権があり、毎年の総会にご出席いただけます。欠席の場合には、委任状を提出していただけます。個人賛助会員・法人賛助会員には、議決権がありません。

■会費 個人 1口 6,000円/年  
 ※できるだけ2口(年12,000円)以上お願いします。  
 ※70歳以上の方は一括5万円(終身会費)の納入も承ります。  
 法人 1口 30,000円/年

■その他  
 ・ご寄付も随時受け付けております(金額自由)。  
 ・会員と寄付者に感謝の意を込めて、会報やホームページにお名前を掲載させていただきます。匿名希望の方または金額の掲載を希望されない方は、その旨を通信欄にお書き添えください。  
 ※匿名希望の有無にかかわらず、会員名簿を配布したり、住所などの個人情報を外部に提供することは一切ありませんので、ご安心ください。

■お問合せ お茶の水学術事業会 事務局  
 TEL&FAX 03-5976-1478 info@npo-ochanomizu.org